

「3学期始業式挨拶」

みなさん、おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。

平成30年、2018年がスタートしました。17日間の冬休みを楽しく過ごせましたか？家族で旅行や初詣でに出かけた人も多かったことと思います。

校長先生は、終業式でも話したように今年も初日の出を見るために初日の出登山をしました。家を朝5時に出発して、真っ暗な登山道を懐中電灯で足元を照らしながら登ります。そして、待つこと午前6時54分、太陽が顔を出し始めます。その瞬間、家族の幸せと一小のみんなの健やかな成長を願いました。今年も素晴らしい初日の出を見ることができました。とってもきれいな初日の出でした。みなさんの中で、初日の出を見たことがある人はいますか？人生の中で、是非一度は経験して欲しいと願っています。

さて、校長先生は3学期の始業式に「駅伝」の話をしようと思っていましたが、実は、昨日とても感動したことがあったので、そのことについてお話します。まずは、これを見て下さい。「0-5」。引き算ではありません。次は「1-0」。そして、このサッカーボールです。何を話そうとするか分かった人？たくさんいますね。先生方もいっぱい手が挙がっていますね。そうなんです。高校サッカー選手権大会で、前橋育英高校が優勝したことなんです。校長先生は、昨日「埼玉スタジアム」で決勝戦を観てきました。それはそれは素晴らしい試合でした。両チームの選手たちが最後まで必死にボールを追う姿に心を打たれました。そして、優勝が決まった試合終了の笛が鳴った瞬間、感動的な場面を見ることができました。それは、前橋育英の選手たちがみなグラウンドに膝をついて顔をうずめ泣いている姿でした。「やったー」と言うガッツポーズではありませんでした。何度も何度もシュートをしてしても決まらず、延長戦になるのかと誰もが思っていた試合終了間際に劇的なシュートが決まりました。90分ずっと走り抜き精も根も尽き果てた中でのゴールと、去年の決勝での「0対5」という敗戦の悔しさをバネに毎日毎日苦しい辛い練習を積み重ね、ついに「優勝」と言う夢が実現したという思いがそうさせたのだと思います。そして、その選手たちの姿と山田監督の涙をこらえながらのインタビューに、校長先生はもらい泣きをしてしまいました。

誰でも夢を持つことができます。しかし、夢の方から近づいてくることは決してありません。その夢の実現に向け目標を立て、日々努力を積み重ねることで夢の実現は始まります。夢を頭に思い描いているだけでは何も変わりません。今日から始まる3学期のスタートするにあたり、勉強・運動・生活面などで目標を立て、コツコツと努力を積み重ね夢や目標の実現に向け頑張ってくれることを願っています。校長先生も担任の先生もみなさんの夢や目標が実現するよう応援していきます。

それでは以上で校長先生の話进行ります。

